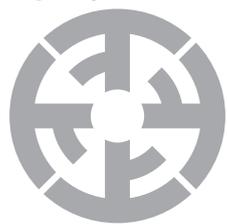




かみさと



議会 だより

- ◇6月定例会の審議状況……………P 2
- ◇6月定例会一般質問に10人…P 3
- ◇委員会レポート等……………P13
- ◇9月定例会会期日程等……………P14



▲長幡公民館定期利用団体の皆さん

詳細はP2へ

108

踊る笑顔、転がる想い、

響き合うまちの声

第4回 6月 定例会

6月4日
～12日

第4回6月定例会は6月4日に開会され、議員10名の一般質問と町長提出議案等9件を審議して12日に閉会しました。

◆ 条 例 ◆

上里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

要旨 「国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律」の施行に伴い、上里町の非常勤特別職の報酬額を、同法で規定する金額と同額に引き上げる改正を行うものです。

◆ 人 事 ◆

人権擁護委員の推薦につき意見を求めること（諮問）

要旨 現委員の任期満了により、再任の推薦を行うことに意見を求めるものです。

公平委員会委員の選任

要旨 現委員の任期満了により、新しい委員の選任について提案するものです。

◆ 令和7年度補正予算 ◆

上里町一般会計補正予算（第2号）

概要 歳入歳出それぞれ3億1674万7千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ130億5744

万7千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・定額減税補正給付金事業 1億5790万円
- ・教育費 1億5592万2千円

※介護保険特別会計、一般会計（第3号）、水道事業会計の補正予算も提出され、原案のとおり可決されました。

◆ 契 約 ◆

工事請負契約の締結

要旨 男女共同参画推進センター・七本木児童館・七本木公民館複合化等改修工事の工事請負契約を締結するものです。

物品購入契約の締結

要旨 こむぎつちテラス備品購入の物品購入契約を締結するものです。

◆ 陳 情 ◆

「安全・安心の医療・介護の実現のため人員増加と処遇改善を求める」意見書を国に提出することを求める陳情

※令和7年第2回定例会における継続審査分のため要旨割愛（前号掲載済）

委員会採択 採択

人員不足解消に向けた外国人雇用は定着が難しく、課題があります。また、賃上げ支援については、民間病院や介護施設の経営状況により給与格差があるため、医療報酬や介護報酬の引き上げなどの対策が必要です。また「地域保健法」により、全国の保健所が半減されたことで、コロナ感染症によるパンデミック時には人員不足が生じ、本来一番大切な感染予防業務が十分できなかつたとのことですので公衆衛生行政の体制の拡充も必要です。

今号の表紙

ポッチャ愛好会

（表紙、左）毎週火曜、13時半から長幡公民館にて活動しています。健康維持のため適度な運動量を心がけ、おしゃべりも交え楽しんでいます。

ハニハニフラサークル

（表紙、右）毎月第2・第4土曜日19時から活動しています。仲良しフラダンスサークルで、先生指導のもと「笑顔で皆さんを幸せにしたい」をモットーに練習しています。

第4回6月定例会 議案に対する各議員の賛否

議案	議員名	石井慎也	伊藤覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡壽	齊藤崇	植原育雄	高橋正行	新井實	沓澤幸子	高橋仁	黛浩之	結果	
7 令 和 度	上里町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	上里町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
上里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
物品購入契約の締結	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
公平委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
7 令 和 度	上里町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
「安全・安心の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求める」意見書を国に提出することを求める陳情		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

（○賛成 ×反対）



新井 實

問 逼迫する医療体制をどう守るか

答 救急医療体制強化のため、システム導入済

1 逼迫する医療体制を
どう守るかについて

問 救急搬送の効率化を図り、救命率の向上を図ることにについて。

答 救急医療体制に関わる各種データやシステムの導入状況等については、令和7年2月に開催された児玉地域救急医療対策協議会で示された資料に基づくものとなる。初めに、救急搬送の人数については、児玉郡市広域消防本部全域で、令和6年1年間に6322人で、そのうち上里町は1286人となっている。次に、救急車と医療機関を結ぶオンライン情報連携システム導入については、埼玉県においては既にシステム導入をしており、令和7年3月31日より救急隊から医療機関へ動画や画像、チャットを送信する機能を追加して救急搬送体制を強化しているようである。

2

令和の米騒動について

問 米価の抑制と米の不足解消の手当てについて。

答 今回の米の価格高騰の要因については、様々な指摘がされているところであるが、専門家の分析では、米の生産調整により需給の均衡を図っていた中で、猛暑による生産量の減少、コロナ禍の収束による外食需要の急激な回復やインバウンドによる利用増などが重なり、需給計画という観点からは大きなずれが生じ、バランスが崩れたためとされている。今回の米価高騰



についての専門家の間では、生産調整の限界を示すものという指摘もされており、米の需給調整等をどう図るのか、また、生産者と消費者の双方が納得できる価格をどう設定するのか、主食である米の生産基盤の維持確保をどうするか等、課題は山積しており、何らかの見直しが必要であると考えられるが、米政策については国政の場で与野党間の協議、調整等が行われているので、町の農業振興のためにも注視していく。

3 再考デジタル教育について

問 デジタル教科書が正式な教科書に加わる見通しになったことに対する今後の動向について。

答 教育長 上里町では、令和6年度から児童・生徒用デジタル教科書を英語と算数、数学で導入している。現在、教員、児童・生徒ともに紙の教科書を主として使用しているが、1人1台の学習用端末を有効に活用

4 学校給食費無償化について

問 学校給食費無償化は社会全体で支えることについて。

答 学校給食費の無償化については、令和7年度から学校給食費補助金制度を創設したところである。この補助制度を創設するに際し、他の施策とのバランスや現在の財政状況等を考慮した結果として補助制度の内容を決定しているところであるため、御理解いただきたい。

※令和7年度より、公立小中学校等に就学する児童生徒の学校給食費の3分の1に相当する額を補助



伊藤 覚

問 上里ゴルフ場のふるさと納税の方法について

答 現地決済型ふるさと納税導入を調査研究する

1 上里町のハラスメント対策について

問 令和6年12月議会において、全職員を対象にハラメントアンケートを実施中であるとの回答だったが、どのような形で実施し、どのような質問項目があったのか。

答 自席のパソコンか、スマホでQRコードを読み取る方法で実施し、ハラスメントを受けたと感じたことがあるか、受け取った行為や行為をした人との関係、その後どのような行動をしたかの質問をした。

問 ハラスメント防止研修の実施について、既に研修は実施されたのか。

答 ハラスメント防止研修は1月末に実施した。課長職、課長補佐職、係長を対象に講義やグループワークを行い、ハラスメント規制法などの基準理解を深め、ハラスメントが起きない職場づくりのための具体的な防止策と、休職者発生時の対応を学んだ。

問 前回の質問から既に半年たっているが、カスタマーハラスメント対策の実施状況について、名字やイニシャルのみを使用した名札の早期導入を検討したいとの回答だったが、こちらは導入されたのか。

答 名字やイニシャルのみの名札については、職員のプライバシーが守られ、心理的に安心感を持つて業務に取り組めるものである。今年度中の導入に向けて準備を進めている。

問 カスタマーハラスメントの抑止効果が見込める啓発ポスターなどの掲示を検討したいとの回答だったが、既に掲示したのか。

答 令和6年12月から、役場庁舎や保健センターなど、公共施設のカウンター等に啓発ポスターを掲示している。

2 上里町の観光について

問 観光メディアとして新聞、雑誌などの紙媒体以外にも各種SNSコンテンツ

を駆使すれば、特化した観光集客も可能となってくるのではないかと。

答 町内の観光資源や町民旅行者のニーズを改めて調査し、どのような情報発信や観光施策が効果的かを分析する。戦略的かつ計画的に上里町の魅力を発信していきたい。

問 上里町のアンダーツーリズムの部分にこそ観光コンテンツや上里町が秘める観光のポテンシャルがたくさんあると思うが。

答 上里町には歴史資源や豊かな自然環境など、多くの観光資源が存在している。地元事業者や住民の方々と協力して地域資源を発掘し、受皿を整備した上で、町内外への発信を進めたいと考えている。

問 上里町が秘める観光のポテンシャルや、観光コンテンツを上手に発信できるように、観光メディアに特化したアドバイザーを設置してみては。

答 町職員をサポートし、効果的な施策を展開できる

可能性があるが、財政負担の増加や情報伝達の成果が予測しづらいといった課題もあるので、慎重に検討したい。

3 上里ゴルフ場のふるさと納税について

問 現地決済型ふるさと納税は、その場で決済用QRコードをスマートフォンで読み取り寄附をし、サービスを受けることができるので、プレイ費等の支払いにふるさと納税の寄附で決済ができる。上里ゴルフ場に導入してみては。

答 町の観光資源の強化と経済効果の拡大を図ることが期待できる。全国的にも導入する自治体は増加傾向なので、先進事例を参考にし、システムの仕様や納税実績などを含めた費用対効果を調査研究する。





一般質問



齊藤 崇

問 物価高騰に対する町独自の支援策は

答 国・県の補助制度等を総合的に判断し検討

質問 1 経済対策について

問 ここ数年物価高騰が続いているが、町長の率直な意見は。

答 エネルギー価格の高騰、円安、国際情勢の影響、原材料の上昇等、複数の要因が複雑に絡み合っており、引き起こされ、町民の日常生活や事業者の経済活動に長期間大きな影響が生じていると認識している。

また、アメリカの関税実施により、先行きの不透明感が急速に強まる中、下振れリスクが高まっていると感じている。

問 過去には国の交付税等を活用して地域応援商品券配布事業や学校給食費臨時補助事業等を実施してきたが、町独自の支援事業を早急に実施すべきと思うが。

答 令和7年度当初予算において、財源不足を補填するために、町独自の支援事業の財源として活用している財政調整基金を約9億円繰り入れている状況を踏ま

えると、慎重な対応が必要と考える。町独自の支援策は、常に財政状況等も考慮し、できる限り多くの町民や町内事業者に支援の手が行き届く、有効な支援策として実施したいと考える。

質問 2 図書館運営事業について

問 令和5年度で開館30周年を迎え、また指定管理者制度を導入し、今年度で10年を経過。多くの場合、周年事業等を計画実施されているがどうであったか。

答 教育長 30周年時には記念事業としてチェロコンサート&ギターを開催した。周年事業は図書館を知っていただく上で大事な要素と考えているので、今後も状況に応じて検討していく。

問 児童・生徒を対象にした15あるイベントで、参加者の少ないイベントに対してどのような改善を試みているのか。

答 参加率に関しては、苦慮しているイベントもある。今後も既存事業の見直しや

新規事業への取組に加え、周知方法や図書館の利用方法を研究し、親しみやすい、行きやすい図書館として、町民の皆様へ愛される施設になるよう努める。

質問 3 公民館だよりについて

問 今年3月で地区公民館だよりが廃止され、広報の「公民館コーナー」に集約されて掲載。オリジナルティーがあつて愛読者も少なくなかったと思うが、意図は何か。

答 広報への移行については、昨年度当初から公民館館長会議にて協議し、12月に決定。移行の理由については、各公民館で行っている事業を全町民に発信でき、周知が拡大され参加者の増加にもなる。また、ペーパーレス化や印刷、仕分けといった事務負担軽減につながる。

質問 4 介護について

問 生涯を終えるまで生活

するための住居を終の棲家といい、多くの人が最後まで自分の家と望んでいる。本町の高齢者人口は約8500人、令和5年度末の在宅介護は59人、殆どが老々介護。本町においても地域包括支援センターが存在しているが、相談等問題解決できているのか。

答 本町でも高齢者夫婦のみの世帯、高齢者独居世帯が年々増加、住み慣れた地域で暮らし続けられる体制づくりを推進している。地域包括支援センターでは、複雑な相談もあるが、きめ細かい対応を専門職等で行っており、現時点では問題なく機能している。





植原 育雄

問 放置空き家対策について

答 令和7年度 町は空き家等対策計画の策定に着手

1 放置空き家対策について

問 放置空き家の現状は。**答** 令和元年度空き家実態調査で66件の報告がある。所有者に適正管理を依頼する。**問** 空き家対策特別措置法（特定空き家の撤去が可能になった事）について。**答** 解体費用は所有者に請求されるが、費用の回収が困難なケースが多い。**問** 空き家を処分しない理由は、解体費用の負担感と土地の固定資産税の優遇措置が受けられることなので。**答** 特措法では、特定空き家等の固定資産税軽減の解除が可能。除却や利活用補助金を活用する等、所有者が行う対策への支援が必要。**問** 国の空き家対策の管理不全空き家認定制度の新設と、町内管理不全空き家について。**答** 今年度、空き家等対策計画の策定に着手する。

2 少子化と子育て世帯支援対策について

問 少子化の要因について。**答** 経済的要因・社会的要因・結婚に対する価値観の変化が要因で未婚率が上昇、出生率低下を招いている。**問** 結婚しない理由と結婚新生活支援事業について。**答** 少子化の要因と同じく、様々推測される。新生活を経済的に支援する取組で、夫婦の年齢要件、世帯所得要件、補助上限額を設定し、住宅の取得費用や賃貸費用等が補助される。導入済の自治体を参考に、事業効果や有効性を調査する。

3 増える身寄りなき高齢者対策について

問 頼れる身寄りがいないために、生活に困る高齢者の対応について。**答** 支援を必要とする高齢者の対応は、ケアマネージャーや施設、社会福祉協

4 教職員の保護者対応について

問 教職員の保護者対応の現状と対応について。**答** 教職員 心理的事実と客観的事実を区別し、適切に対応している。**問** 保護者の過度な要求や苦情への教職員の対応について。**答** 教職員は先入観で相手を判断し、勝手に決めつけた対応をせず、背景にある事情や心情を把握し対応するよう指導している。**問** 教職員の働きがいと仕事を減らす事が相反する事になっている事について。**答** 教育長 教師の働きがいは、児童生徒の成長を手助けすること等の一方で、業務は多様化し、事務作業、保護者対応、部活動指導など教員の負担が増加。教職員の加配申請、業務の見直しや事務作業の効率化を進めている。会計年度任用職員を雇用する等、教員の業務負担を軽減している。**問** 学校が抱える問題に法的見地から助言する弁護士「スクールロイヤー」導入について。**答** 教育長 県は令和2年度導入。県立学校や市町村立小中学校の法的な問題の対応を支援。いじめや虐待、学校事故、保護者からの過剰な要求等、教育現場の法的問題の早期解決を図っている。**問** 校長OBを学校問題解決支援コーディネーターとして配置のモデル事業について。**答** 教育長 モデル事業は令和6年度から始まり、都道府県及び全国の市町村が対象、埼玉県に学校問題解決支援コーディネーターが配置された。**問** 学校の安全管理について。**答** 教育長 児童生徒の安全確保の為、万が一事故発生時の、適切な応急手当や安全措置を講じる体制が必要。校門管理、警察との連携、不審者想定防犯訓練実施、防犯カメラ設置等の対応をしている。



一般質問

石井 慎也

問 AED 設置費用の助成を行ってはどうか

答 補助金を活用した AED の普及は難しい

質問 1
選挙について

問 投票率を上げる取り組みとして、投票済証明書を提示すれば割引などのサービスが受けられるセンキョ割を行ってはどうか。

答 選挙管理委員長 特定の事業者と連携することで公平性に疑念が生じる恐れがある。選挙の中立性や公平性を損なうことがないよう、民間の自主的な取組として行われることが望ましいと考える。

問 子供の頃から投票に行くという経験をすることで成人後の投票率が高くなるとの調査結果もあるので、投票所にカプセル玩具器を設置し、有権者の家族と一緒に投票所に来た18歳未満の子供にガチャガチャを楽しんで頂いてはどうか。

答 選挙管理委員長 物品の提供が投票の見返りと誤解されることの懸念や、先着順による配布による公平性など、課題があると認識している。

質問 2
クビアカツヤカミキリについて

問 大型商業施設に期日前投票所を設置し、利便性の向上を図ってはどうか。

答 選挙管理委員長 民間施設であるため、選挙の公正性、中立性への懸念、プライバシーの保護のほか、施設側への負担、協力体制が求められる。また、安全なネットワークの構築など技術的な課題がある。さらには、投票管理者や立会人、事務従事者など必要な人員の確保が困難な状況にあり、現時点での実施は困難である。

問 クビアカツヤカミキリに懸賞金を出してはどうか。また、樹木に対して行う薬剤処理費用や伐倒処理費用、成虫に対して行う薬剤防除の費用の助成を行ってはどうか。

答 被害防止対策の取組として参考にさせて頂き、他自治体の動向も注視しながら、実施の可否について検討したい。

質問 3
AED について

問 安心・安全なまちづくりを進めるためにも、AED の設置場所を増やしていくことが大事ではないかと考える。設置費用の助成を行い AED 設置の手助けを行ってはどうか。

答 設置したこのみを評価して全ての希望者に補助金を交付することは望ましいものではないと考えており、補助金を活用した AED の普及は難しいと考える。

問 町内の学校では職員室などの室内に AED が置かれているが、休日等で職員の方がいない場合には使にくい状況にある。校舎の外に AED を設置し、職員がいない時間帯でも AED を使いやすくしてはどうか。

答 教育長 温度変化による故障や盗難といった管理面や設置場所の確保、設置費用といった課題もあり、警備されている校舎内の設置としている。

質問 4
学級費の集金について

問 中学校の授業で AED の大切さや使い方の授業を行ってはどうか。

答 教育長 AED の活用方法や心肺蘇生法について教科書や動画、実物を用いて学習している。

問 学級費や学年費を現金で集金している小学校があるが、子供たちが現金を持ち、登校している状況は良くないと考える。保護者が QRコード決済等で支払いができるようになると良いのではないか。



沓澤 幸子

問 「町民会議」形式で声を聴く場を

答 大事なので計画に取り組みたい

1 住民参加の拡大について

問 総合振興計画をはじめ、重要な計画策定において、役職者中心の審議会以外に、無作為抽出の「町民会議」形式で、子ども達や外国の方など様々な声を聴く場を設けては。

答 各種計画策定は、住民の参加促進で意思決定プロセスの透明化を図りたい。多国籍の方にも選ばれる町になることも含め大事だと思うので、計画に盛り込めるよう取り組みたい。

問 駅北まちづくりの「駅北未来ビジョン10か年計画」の具体的構想と財政見直しを含めた説明を行うこと。本庄市にも上里と同様の計画があるが、本庄駅北の高層住宅計画を市はとどまるとしている。神保原駅北は高齢化が進み、買い物先や空き家増加の問題がある。まずは、朝市など買い物先の工夫と、玉村町は空き家解体の補助制度がある。こうした整備が大事ではな

いか。

答 県の方向性も出てきたので、住民にも知らせる機会を持ちたい。駅北東通り線周辺には、商業施設の進出を促す空間があり、企業も含めて交渉中。事業者を募って買い物に不便を来している方の対応を至急検討していく。

問 町の重要計画の中に、意見発表だけでなく意見交換ができ、子どもの意見を聞いてもらえる権利を保障する事が大事では。

答 子どもや若者が自由に意見を表明できる環境を整備することは重要な課題と認識する。子どもが安心して自分の考えを表現できる環境を整備する方向で取り組みたい。



2 子ども・子育て支援について

問 広島市の平和事業に中学生が参加できる機会の検討は。

答 教育長 原爆投下80年の節目に小・中学校で平和学習を実施し、学級で平和宣言を作成し掲示する。平和記念式典への参加は、中学生体験研修参加補助金制度の活用を検討する。

問 「子ども食堂を町内5カ所に」の目標の現状と、物価高騰の中で、せめて週1回提供するためには、町が主体的に実施することが必要ではないか。また長期休み中の食料等支援対策の考えは。

答 子ども食堂は3カ所で、月1回が2カ所、隔月が1カ所で町内事業者等により実施。町として支援できる仕組みを検討する。子育て支援の関係から、事業を継続する支援の必要があり、この事業は拡大したい。長期休みの食事の提供は、社協によるフードパントリーを予定している。

問 就学援助基準の基礎である生活保護費が減額されている。町の基準を、美里町のように生活保護費の1.3から1.5に引上げを。また、小・中学生に配布するチラシの所得モデルを細かく示すこと。

答 物価高騰が続く現状で、引き上げは支援の拡充になると考えるが、影響を把握する必要はある。県内でも多くが1.3未満であるが、美里町長に話を聞き、可能性も含め検討したい。制度案内は、複数の事例を示し周知する。

問 猛暑日でも、子ども達の健康な体づくりに必要な運動が実施できる環境として、小学校体育館の早期空調整備が必要では。

答 教育長 教育現場における教育運営方針とともに、町の財政状況や他の事業との優先度を勘案しながら検討していく。

※サーブエリア周辺事業についても質問しました。フードパントリーとは：支援が必要な方に、無料で食品を提供すること。



一般質問

戸矢 隆光

問

狭い中で情報を発信しても色々な情報は得られないのでは

答

具体的に出ている話を国や県に働きかけている

質問

1 防犯カメラの公共施設

の設置状況について

問 今では、犯罪が起こった場合、防犯カメラや車載カメラの追跡や解析によって、犯罪者を特定し、検挙に至るようであるが、役所で大きな問題となっているカスハラ対策や不審者対策、学校においては先日起きた部外者の侵入による暴力事件など、今までには考えられなかったことが現実起こっており、防犯カメラの重要性は極めて高くなっていると考えます。各公共施設の設置状況は。

答 町では上里町防犯カメラの設置及び運用に関する要綱に基づき、管理、運用を行っており、職員をカスハラメント等から守るためにも有効であると考えています。庁舎内には、犯罪の抑止及び来庁舎のプライバシーを配慮し、柱や壁等見えるところにカメラがあることを表示している。**答** 教育長 平成26年度から平成28年度にかけて、各学

校に防犯カメラを設置したこれにより、不審者の侵入を未然に防ぐことができると考えています。仮に不審者が侵入した場合でも、児童生徒や教職員等に対する危害の防止、不審者の特定ができる効果が期待できる。

問 防犯カメラの助成について、個人においても各自治体で実施をしているところがあり、中には自治会単位や中小企業に助成しているようなところもあるようですが、使用方法を誤らなければ、犯罪に対し最適ではないか。

答 経常的な補助金となると財政的な拘束力が高くなり、財政運営の硬直化が進む要因となることから、新規に補助制度を創設する場合には、費用対効果も含めた検討が必要。

質問

2 職員の採用について

問 全国的に技術者などの人員が少なく、困っているとお話も時々聞くとところであり、今のままでは募集する場合でも大変苦労しているのではないかと危惧をるところである。体も年々若くなつて、退職年齢が年々延びる中、社会経験が豊富で、郷土愛あふれる人であれば、採用基準を見直しても十分メリットがあるのではないか。

答 上里町事務職員の採用に関する規則に基づき、長期的な視点を持って、総合的な視点でバランスを考慮し、地域に根差した人材の育成、確保を行うため、年齢要件の引上げを含め、適正な職員採用を行っていく。

質問

3 公共施設の建物に

CCTV

問 総点検や運営について、白岡市役所の火災の報を受けて、町としてどのような対策を行ったのか。またこ

れから未然防止対策をどのように考えているのか。

答 自動火災報知設備等の消防設備の保守点検を毎年実施している。点検の結果、不良箇所についてはその都度修繕しており、令和6年度は各階の感知器の交換及び誘導灯の修繕を行っており、庁舎以外の各施設についても同様に点検を行っている。

質問

4 大型商業施設の跡地

について

問 神保原駅北まちづくり事業計画の中心地であるこの場所は、この計画の核ではないか。この跡地、現在の動きを含め、今後どのように考えているのか。

答 町が進められる事業を着実に進め、あらゆる機会を通じて、大型商業施設跡地の利活用を検討していくべきと考え、今後も引き続き地権者の意向を尊重しながら、あらゆる選択肢を視野に入れて、大型商業施設跡地の利活用を検討していきたい。



高橋 仁

問 将来的な地域の農地利用方針について

答 地域計画で農業の持続可能な発展を目指す

質問 1 農業振興について

問 地域計画については、農業の10年先の将来像を描く設計図と言われているが、

答 地域全ての人で農地を維持し、地域の状況等を反映し、担い手等へ集積していく合意を年々繰り返し、いくという継続的な取組を行う。

問 担い手の確保、育成はどのようにするのか。

答 農業者の高齢化や後継者不足が進展する中、複数の課題があり、関係機関が連携した寄り添った支援が必要である。

問 農地の保全と集積はどのように。

答 作業の効率化等の観点から、営農環境の大きなポイントになると考え、良好な営農環境を整備するための取組を進める。

問 スマート農業の取組はどのように。

答 スマート農業を取り入れることで、さらなるコスト削減や品質の向上が期待

できる。県でも普及や農業生産基盤の整備に力を入れ、収益性の高い作物への転換を推進する方針が示されている。

問 食育について、各小中学校での教育はどのように。

答 教育長 各学校、様々な工夫をしながら食育を実施している。栄養教諭による出前授業により、生徒に栄養バランスの取れた食事の重要性など、食べることの大切さについて指導している。また、地域の方々の協力により、農業体験を通じて、食材の生産過程を学ぶ体験活動等を実施。さらには、学校給食を通して、地元の食材を使った献立を入れることで、地産地消についても意識させている。今後も、学校だけでなく、地域の方々と協力して、食に対する興味を育てていく。



質問 2 環境問題について

問 家庭ごみ等について。

答 家庭から排出されるごみの指定収集所は、各行政区が設置、管理していただいております。町民の皆様の御協力の下、ほとんどがきれいに使用していただいているものと認識している。

問 各分別ごとの問題点について。

答 マナー違反がなくなることはなく、行政区や地域の皆様で、その都度、違反排出等への対応を行っていただいている。分別方法の周知に関して、より効果的な方法の検討を重ねていく。

問 培養土の取扱いについて。

答 処分方法については、児玉郡市広域市町村圏組合と同組合を構成する1市3町の廃棄物担当者で組織する児玉郡市清掃行政研究会にて検討していく。

問 有害ごみについて（リチウムイオン電池等について）、破碎や圧縮など強い

衝撃が加わると発火する危険性があるため、確実な分別を願うが。

答 有害ごみの回収日に、指定収集所のバケツで回収したものについては、有害ごみとして取り扱うため、火災の報告はない。しかし、分別をせずに、有害ごみではなく不燃ごみ等で、モバイルバッテリーなどの小型充電式電池が内蔵された製品が排出された場合には、ごみ収集車やごみ処理施設等において、全国的にも発火が頻発している。

問 リサイクルボックスについて。

答 令和4年12月に設置し、大変好評を得ている。

問 リサイクルボックスにおける瓶の回収については、作業員がけがを負う危険性があるとのこと。

答 けがや事故の起こらぬよう、より安全な回収方法を検討していく。担当者、作業をされている方の意見を聞き、対応策を考えたい。



高橋 勝利

問 米高騰の原因は何か

答

生産量の減少が重なり需給のバランスが崩れた為

質問 1
米高騰の原因は何か

問 米高騰の原因は何か。

答 米の価格高騰の原因は、様々な要因が指摘されているが、専門家の分析では、生産量の調整により需給の均衡を図っていた中で、コロナ禍の収束による外食需要の回復、インバウンドによる需要の高まり、猛暑などの異常気象による生産量の減少などが重なり、需要が増加した一方で、供給が不足したことから、需給のバランスが崩れたためとされている。

問 関税について。

答 大手のスーパーや外食チェーンの中には、関税を払って外国産米を輸入する状況も見られる。上里町においては、国の作物統計調査では、令和6年産米の作付面積は394ヘクタール、収穫量は1,850トンとされている。相当数の方が米を出荷しているが、直接輸出している方は確認されていない。

問 そもそも備蓄米とは何のためののか。

答 備蓄米は、国が主食の安定供給の確保、緊急時の食料確保、食料安全保障の強化等を目的に保有しており、緊急時には国民の食生活を支える非常に重要な役割を持つものと認識している。

問 国の対策及び販売価格について。

答 価格安定のために備蓄米を放出するのは、本来の趣旨とは相違する異例な対応ともいえるが、長引く国民の不安を解消するための国の判断であると認識している。備蓄米放出の方法については、入札から随意契約へ変更するなど、備蓄米流通の加速化、価格の高止まりの解消に向けた改善策が取られている。

質問 2
小1の壁はなぜ起きているのか

問 原因及び壁を乗り越えるための対策について。

答 教育長 小1の壁とは、保育園を卒園し、子どもが

小学校に入学すると、保育園のように長時間預かってもらえなくなり、保護者は仕事と育児の両立が難しくなることであると認識している。少しでも小1の壁を解消するために、学校と家庭が連携し、保護者の負担を軽減していくことも重要であると考えている。学校

ができることとして、家庭訪問、教育相談の実施方法の工夫や、学校行事の精選、PTA活動のスリム化などが考えられるが、学校の様子を知らせてもらう機会をなくさないためにも、保護者や地域と学校が慎重に検討し、対応できるよう努めていく。また、地域のサポートも家庭の負担を減らすことにつながるかと考えており、のびっこ教室など、地域の人材が、親と協力しながら子どもたちを育てるような活動を実施している。

質問 3
神保原駅 北東通り線について

問 神保原駅北東通り線の進捗状況・位置付け・住民

要望に対する重要性について。

答 進捗状況については、令和6年度、地質調査、路線測量、詳細設計を実施した。令和7年度は、道路に必要な土地を調査するため、用地測量を実施する予定であり、道路整備に必要な工程を順調に進めているところである。本路線は、将来の都市づくりを定める上里町都市計画マスタープランに、都市計画道路と同じレベルの道路として位置付けられている。マスタープランは、学識経験者、上里町議会議員、埼玉県職員などの第三者で構成された都市計画審議会に諮り、町民の意見を広く募集するパブリックコメントも実施した、町の重要な計画である。主な事業効果としては、広い道路の整備により、車と歩行者が接触する機会が減るため、事故の危険性が減り、駅利用者や地域にお住まいの方が安全に通行できる。



猪岡 壽

問 高崎市との合併について町長の見解は

答 越境合併については通常の合併に比べ、ハードルは高い

1 高崎市との合併について

問 将来は道州制になると予測するが、その第1歩として、埼玉と群馬が埼群連合となる必要がある。

そのためには、上里町が何をなすべきかを考えたときに、県境を越えた形になるが、高崎市との合併を考えたらいかがか。群馬県を代表する高崎市と埼玉の北の拠点である上里町が合併することは、両者にとって多くのメリットがある。上里ゴルフ場のところに上武空港をつくる構想があるが、これを高崎空港としてPRすれば、話題性がある。本庄児玉インターチェンジも近く、上里サービスエリア周辺の店舗や農産物直売所は、観光客が増えることは間違いない。また、高崎市周辺には、企業や大学が多くあり、活況を帯びている。そのため、大卒者や若手の就職先が多くある。また医療関係の大学もあり、町念願の総合病院の誘致につながる可

能性がある。また、新町には陸上自衛隊駐屯地があり、道の駅に計画している防災センターの開設に役立つと思うが、高崎市との合併について町長の見解は。

答 越境合併については、双方の県議会の議決が必要であり、ハードルは高く、高崎市の意向もある。自治体規模から編入合併になる可能性が高く、町の名称が変わることや、歴史、文化、伝統といった地域の個性が薄れるおそれがあることを考慮し、町民のご意見を、合併に対するご理解をいただく必要がある。

2 幼児の英語教育について

問 東京都港区と埼玉県上尾市では、幼いころから英語や異文化に接してもらおうと、区や市の保育園に英語を母語とする講師を派遣する取り組みを始めたとのニュースを見た。港区や上尾市では、幼児教育で英語を体験させている。これから日本は人口が減少し、外

国人労働者が増えることが確実である。そこで英語教育は、これからの子どもたちには日常生活で役立つものになるので、幼児教育には英語教育を願いたい。町長、教育長の見解は。

答 町長 各園の運営方針や保育理念を十分尊重しつつ、本町においても、幼児期から異文化に触れる機会を拡充していきたいと考えている。そのため、園や保護者のニーズを踏まえながら、先進自治体の取組を参考に、実施に向けた検討をする。教育長 幼稚園、保育園の英語教育については研究中であり、それぞれの園の教育方針もあるので、受入れが可能かどうかを含めて検討する。

3 農業用水路の管理について

問 休耕田の多い地域の水路の管理について。

近年、農業従事者の高齢化により、耕作放棄地が増えている状況である。特に神保原一丁目地区では、農

業者が高齢となり、その後継者も勤め人で、耕作放棄地が増えている。そのため、かつての農業用水路も不要のものとなっている。その不要の水路の管理を今後誰が管理していくのか。また、不要の水路についてどうしていくのか、民間への払下げも検討するのか、町長の見解は。

答 現在、一丁目地区の大部分の水路については、水路機能がなく、水が流せない状態であると思っている。今後、水利組合との協議や、水路機能の必要性などを十分に検討していく。



水路の現況

玉村町議会・上里町議会交流会

日付:5月23日(金)

会場:上里町役場4階協議会室

本町議会は、地域の連携強化と議会活動の活性化を目的として、隣接する玉村町議会との交流会を5月23日に実施しました。当日は、議員同士がそれぞれの取り組みを紹介し、共通する地域課題や施策について活発な意見交換が行われました。他地域の実例を知ることで、本町に活かせるヒントも得られ、大変有意義な時間となりました。今後も交流会を積極的に行い、より開かれた議会運営を目指してまいります。



文教厚生常任委員会

委員会
レポート

6月30日(月)7月1日(火) 学校訪問

6月30日に神保原・賀美・長幡小学校、上里中学校を、7月1日に七本木・上里東小学校、上里北中学校を訪問しました。学校長より学校要覧の資料に基づいて、学校教育目標等の説明をしていただき、併せて校内の視察を行いました。近年の酷暑ではありますが、各校とも暑さ指数(WBGT)31以上の日は、体育、水泳の授業などは他の教科に振り替える等の工夫をしていました。また各教室にはエアコンが完備され、児童・生徒は快適に授業を受けられておりました。来年の夏までには両中学校の体育館にエアコンが設置されますので、これらの問題も一つずつ解消していけるものと思います。衛生環境面では小学校の男女トイレで汚れ、臭い等が見受

けられ、児童だけの掃除では限界があるのではないかと感じました。年に数回程度、清掃専門業者に依頼して清潔で快適な環境整備が必要と思います。

安全面では中学校生徒の登下校での自転車の乗り方が問題となっており、これは地域住民からも苦情が寄せられているようです。重大事故が起こる前に、もう一度自転車の乗り方指導等をしてほしいのではないかと感じました。

上里議会といたしましても児童・生徒が安全安心で、より快適な教育環境づくりに注力していきたいと思っております。

黛 浩之



児玉郡町議会議員 前期研修会

日付:7月23日(水)

会場:五州園

演題:「議会広報のあり方を考える」

講師:一般社団法人自治体広報広聴研究所
代表理事 金井 茂樹氏

今回の研修会は、まさに今町民の皆様がご覧になっている議会だよりを中心とする議会広報をこれからどのようにしたら良いかというテーマで研修しました。

町民の皆様に対して議会として中身をどのようにお伝えしていくのか、私たち上里町議会のテーマでもあります。開かれた議会を見て頂くのが課題です。昨今では、SNSの発信やLINEでの発信など多様な媒体で皆様にお伝えでき

る時代となりました。そこで今までなら議会だよりが中心となっていました、その内容をもっとわかりやすくQRコードなどを掲載し手軽に知って頂く事を目標に、発信する側受け手側双方が意見を出し合う事ができるようにより良い改善を目指していかなければいけないと思いました。議会に上がってきた様々な課題や皆様のご意見など、これからわかりやすく丁寧にお伝えして参ります。

金子 義則



議会日誌

6月

- 4日 定例会開会、町長の行政報告、一般質問
- 5日 一般質問
- 6日 全員協議会
議会運営委員会
- 9日 議案審議（条例改正、補正予算等）
総務経済常任委員会
- 11日 文教厚生常任委員会
- 12日 議会運営委員会
全員協議会、閉会
- 27日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 30日 文教厚生常任委員会による学校訪問

7月

- 1日 文教厚生常任委員会による学校訪問
- 17日 議会広報広聴常任委員会
- 23日 児玉郡町村議会議長会 前期研修会
- 31日 利根川治水同盟治水大会

8月

- 7日 全員協議会、臨時会
- 8日 議会広報広聴常任委員会
- 18日 議会運営委員会
- 20日 本庄上里学校給食議会



象など連日様々な報道がさ
れておりました。また一方
では、新米の便りが聞こえ
る時期になりましたが、備
蓄米の報道に続き、新米の
価格が大きな話題になって
いました。私たちの周りの
あつた非耕作地もいつの間

今年のは、
参議院選やト
ランプ関税、
また気候変動
に伴う異常気

今年のは、
にか水田になつて
いたと感
じたのは私だけ
でしょうか。

お知らせ
「意見交換会」ならびに「議会報告会」を
開催します。申し込み不要。当日各会場ま
でお越しください。議会・町政に対して普
段感じていることなど、皆様からのご意見
をお聞かせください。

日時・場所…
11月1日(日) 13:30～
賀美、七本木公民館
11月8日(日) 13:30～
長幡、上里東、神保原公民館
内容…定例会・臨時会の概要等、意見交換

- 議会広報広聴
常任委員会
- 委員長 戸矢 隆光
 - 副委員長 石井 慎也
 - 委員 伊藤 義則
 - 委員 金子 隆光
 - 委員 植原 育雄
 - 委員 高橋 仁

第6回9月定例会の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	9/1	2	3	4 (開会) 一般質問	5 一般質問	6
7	8	9	10	11	12	13
			議案審議	議案審議		
14	15 敬老の日	16	17	18	19	20
		特別委員会	特別委員会	特別委員会	特別委員会	
21	22	23 秋分の日	24	25	26	27
	特別委員会		特別委員会	特別委員会	常任委員会	
28	29	30	10/1 (閉会) 報告・採決	2	3	4
	常任委員会	常任委員会				

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、午後の再開は1時30分です。(時間に変更になることがあります。)
※議事の進行上、休憩が入る場合があります。
※定例会及び各委員会は、傍聴可能です。

第6回9月定例会一般質問一覧

	氏名	質問事項
4日(木)	伊藤 覚	①金久保神社児童遊園に隣接している町有地について ②高齢者を特殊詐欺から守ることについて
	石井 慎也	①田んぼダムについて ②地域通貨について ③駅北まちづくりについて
	高橋 勝利	①若者たちの町づくり推進について ②広報かみさと人の動きについて及び人口対策について ③上里町道の駅構想について ④複合施設が完成まであと2か月になった事について
5日(金)	新井 實	①名古屋市と横浜市で起きた教員の盗撮事件について ②在留外国人政策について ③今後のコメ政策について ④神保原駅北まちづくり推進事業について ⑤老いる街路樹のリスク回避について
	沓澤 幸子	①こども誰でも通園制度について ②国民健康保険について ③平和事業について ④まちづくり会議について
	猪岡 壽	①下水道の工事認可外地域の工事について ②区長のなり手について ③区長の補佐役、班長のなり手について ④今年11月に一斉任期を迎える民生委員のなり手について ⑤創業支援事業の強化について
	熊 浩之	①消防団員の熱中症対策について ②町道の信号機について ③児童への日傘の支給について ④小・中学校の衛生環境について
	齊藤 崇	①町の現状について ②異常気象について ③フードロスについて
	戸矢 隆光	①町の財政について ②町長の描いているまちづくりについて ③農業施設の老朽化について